

## 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 オーストラリアオリンピック委員会 各オフィシャルスポーツウェアにおける環境への取り組みについて

アシックスは、「Anima Sana in Corpore Sano（健全な身体に健全な精神があれかし）」を創業哲学に掲げ、世界中のすべての人々の将来世代に続く心身の健康に貢献することを使命としています。そのためには、地球環境も健やかでなければならないと考え、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指し、循環型モノづくりを進めるなど、環境と社会に配慮した事業活動を続けています。

今回は、アシックスが契約する公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会（JPC）、オーストラリアオリンピック委員会（AOC）のオフィシャルスポーツウェアにおける環境への取り組みをご紹介します。

オフィシャルスポーツウェアを提供するにあたり、CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みとして、JOCとJPCに提供する全アイテムにリサイクル素材を使用<sup>※1</sup>するとともに、JOCとJPCのポディウムジャケット、ポディウムパンツ、シューズを製造する工場において再生可能エネルギーを導入しています。その結果、JOCとJPCのポディウムジャケット、ポディウムパンツは、東京2020大会と比較し2アイテムあわせて34%のCO<sub>2</sub>排出量削減に成功しました。AOC提供アイテムでは、ポディウムジャケット、ポディウムパンツ、シューズにリサイクル素材を使用<sup>※2</sup>し、シューズを製造する工場において再生可能エネルギーを導入しています。

また、オフィシャルスポーツウェアの製品ライフサイクル（材料調達・製造・輸送・使用・廃棄）における温室効果ガス排出量（カーボンフットプリント）を当社独自の手法に基づき算出しました。アパレル製品のカーボンフットプリントを算出・表示するのは、今回が初めてです。

算出の対象は、JOCとJPCの全アイテム、AOCのポディウムジャケット、ポディウムパンツ、シューズで、これらのカーボンフットプリントの合計は122トンCO<sub>2</sub>eです。

※1：ウェア・アクセサリは主要素材にリサイクル素材約70%以上、  
シューズはアッパーの約75%以上にリサイクル素材使用

※2：ウェアは主要素材にリサイクル素材100%、シューズはアッパー  
の約75%以上にリサイクル素材使用

ポディウムジャケット（JOC、JPC）	8.8kgCO <sub>2</sub> e
ポディウムパンツ（JOC、JPC）	5.5kgCO <sub>2</sub> e
ポディウムジャケット（AOC）	10.8kgCO <sub>2</sub> e
ポディウムパンツ（AOC）	6.9kgCO <sub>2</sub> e

カーボンフットプリントの算出方法はこちらをご参照ください。

Methodology of calculation for Carbon Footprint of Product (2023年10月30日：英文)

<https://cms-static.asics.com/media-libraries/102251/file.pdf>

また、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会の「クライメート・ポジティブな大会」を目指す方針に賛同し、アシックスはこのたび、算出したカーボンフットプリントの合計を超える200トンのカーボンクレジットを購入しました。このカーボンクレジットは信頼性・品質が担保されたパキスタンのマングローブ再生プロジェクト「デルタ・ブルー・カーボン」の支援に充てました。本プロジェクトの優れた炭素貯留能力、信頼性の高い認証、地域社会や生物多様性へのポジティブな影響を評価し決定しました。

今後も、環境への責任に向けた取り組みにおいて課題を認識し、一層の透明性向上と継続的な改善を目指します。

「デルタ・ブルー・カーボン」プロジェクトは、パキスタンのシンド州政府と提携し、炭素を効率的に貯蔵できるマングローブの役割に焦点を当て、インダス・デルタに位置する脆弱な湿地帯の保護、回復、持続可能な管理に取り組んでいます。また、近隣の漁業と沿岸地域の人々の生活を支援し、渡り鳥の重要な生息地を提供しています。



写真: deltabluecarbon.com

プロジェクト認証文書 (英文)

<https://registry.verra.org/app/projectDetail/VCS/2250>

## ○アシックスのサステナビリティ活動について

<https://corp.asics.com/jp/csr>

《この資料に関する報道関係者からのお問い合わせ先》

株式会社アシックス 広報部 メディアリレーションチーム (担当：今村) TEL. 050-1742-6412